

止まらぬ橋下旋風



だが実際に平松氏がしたのは市のイベント

の平松邦夫市長は民主党候補への応援を表明したが、候補者と一緒の街頭演説など、表で目立った活動はしないまま。大阪都構想に不安を持つ市職員からは「このまま押し切られるのではないか」との声が漏れた。来年の市長選を考えて、どうするか考える。告示前の6月半ば。民主党関係者は平松氏に、補選での態度をはっきりするよう通告した。2007年の市長選では民主党の支援を受けて当選した平松氏は、しばしば「参戦」を表明した。

統一地方選へ足場

「一方で橋下氏は「市議会で過半数を取るには、今回の得票では厳しい」とも総括。頭の中は統一選でいっぱいなのだ。」

「入れない」と新明するが、あまりの逃げぶり」に、民主党府議は「結局、全面戦争して負けるのが怖いんや」と突き放す。これに対し、平日のスケジュールを空けて連日選挙区入りした橋下氏。市役所批判で関心を引こうとする戦術は相変わらずだが、終盤には「勝ち方も重要」と都構想への後押しを気にした。補選での連勝を「今の市役所にノーを突き付けた」と評価。「橋下人気」と表現した平松氏に「もう『風』じゃない。有権者の声を無視するのか」と反論した。

電子の自転で作られる微小磁石

構成する電子の自転によって個々の原子に作られる微小磁石「スピンの揺らぎが、絶対零度近くで特異状態になる有機磁性体を、京都大人間・環境学研究所の前川覚教授(低温磁性物理学)たちが実験で確かめた。量子超スピン液体」として予見された状態の初めて確認で、超流動や超電

京大教授ら確認

導のように常温では考えられない性質を持つことが確認された。英科学誌「ネイチャー・フィジックス」で12日に発表した。理化学研究所の加藤礼三主任研究員が炭素や硫黄、パラジウムなどを合して作った有機磁性体を使って、京大の前川教授、伊藤哲明助教、

「スピン」揺らぎ 絶対零度近くで特異状態

「スピン」揺らぎ 絶対零度近くで特異状態。導のように常温では考えられない性質を持つことが確認された。英科学誌「ネイチャー・フィジックス」で12日に発表した。理化学研究所の加藤礼三主任研究員が炭素や硫黄、パラジウムなどを合して作った有機磁性体を使って、京大の前川教授、伊藤哲明助教、



「若返り、」かしい姿かみたい」という要望に応え、同社が100系に思い出のある人などに喜んでもらうと企画した。現在の車体は薄いグレー地で、窓枠部分に濃いグレーと黄緑色のラインが走るデザイン。これを白地に青いラインを引いた清新な姿に戻す。

ツイッター投稿で金

京都市中京区の錦市場は、短文をインターネット上に投稿する「ツイッター」で、祇園祭の西御座の神輿の写真を投稿した買い物客向けに18日から割引サービスを始め。錦市場周辺の八坂神社氏子が担ぐ西御座神輿を広く知ってもらい、顧客開拓にもつなげようと初めて企画した。神輿は17日の神幸祭で他の2基とともに渡御後、四条御旅所(下京区)にとどまる。24日に還幸祭があり、28日まで同

神社に割引し、頭で言えぬ新や。西御座神輿の写真添付

(稲庭篤)